

平成29年度 教育委員会関係主要施策

(教育総務課)

事業名	事業内容等
エアコン整備事業(小学校)	全ての普通教室等にエアコンを設置することで、夏季における児童の熱中症を予防するとともに、授業に集中できる良好な室内環境を整えることで、学力の向上も期待できる。 児童が学校で大半の時間を過ごす教室(普通教室、特別支援学級、少人数教室)を中心に空調設備を設置する。また、既設エアコンで老朽化(耐用年数を経過)についても更新を検討する。
小学校遊具更新事業	児童が遊びを通じて心身の発達や自主性、創造性、社会性や基礎体力を身につけてゆく為に、小学校に屋外遊具は必要である。 小学校遊具を計画的に再整備(設置→点検→修繕→更新)することで、児童の安全な遊び場を確保する。
「うさ教育・家庭・読書の日」推進事業	毎年11月の第3日曜日を「うさ教育・家庭・読書の日」として提唱し、教育委員会、学校、家庭等で読書活動の推進により豊かな心の育成や学力向上の機運の醸成に一体的に取り組む。

(学校教育課)

事業名	事業内容等
中学生短期留学事業	次代を担う中学生を海外(英語使用圏の国)に派遣し、日本と異なる文化に触れる経験やホームステイなどの外国生活体験を通じて見聞を広め、本事業を契機に学習意欲の向上とともに、国際化社会を担う豊かな国際感覚を身につけた人材を育成する。
市単独教員の配置	<ul style="list-style-type: none"> ○複式授業改善臨時講師派遣事業 複式学級の授業改善を図るため、該当校に臨時講師を配置して授業を円滑に進め、児童一人ひとりに合ったきめ細やかな指導を行い、児童の個に応じた習熟度の向上を図る。 ○多人数学級支援員配置事業 36人以上で単式学級となる学校(柳ヶ浦小(3)、四日市南小(3))に支援教員を配置して、複数指導や少人数指導体制の整備を図り、児童の興味・関心を踏まえた個に応じたきめ細かな学習指導・生活指導を展開することができる体制を整備する。 ○習熟度別学習指導教員配置事業 各中学校に習熟度別学習指導教員を配置し、中学校の授業改善に向けて支援を行うことを通して、基礎・基本の充実及び応用力の育成を図る。また、一人ひとりの習熟の程度に応じた、よりきめ細かい学習指導体制を確立させることを通して、低学力層の底上げを図る。 ○特別支援教育支援員配置事業 小中学校の通常の学級に在籍している児童生徒及び幼稚園の園児のうち、特別の支援が必要な児童生徒、園児の教育の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置して適切な対応を図る。 ○学校図書館活用推進事業 子どもの読書活動の推進に当たっては、読書の楽しさや本のすばらしさ、本を使って調べ、学ぶことを教える大人の存在が極めて重要です。子どもの読書意欲を高め、学校図書館の活性化を図るためには、学校図書館の図書充実のほかに、子どもの読書活動を適切に支援する人的体制づくりは必要不可欠な課題である。学校司書を各学校に派遣して、学校図書館の活用推進を図る。
スクールソーシャルワーカー活用事業	大分県が実施するスクールソーシャルワーカー活用事業を活用し、各学校が有するいじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、社会福祉等の専門的な知識や経験に加えて、教育分野に関する知識を有する社会福祉士等をスクールソーシャルワーカーとして配置し、該当の関係機関と連絡を取り課題の解決に取り組む。

(学校給食課)

事業名	事業内容等
宇佐給食&食育フェスタ事業	おいしくて安心安全、顔の見える給食づくりを「給食&食育フェスタ」を開催することで、保護者や地域の方など幅広く学校給食への理解を深めてもらう。

(社会教育課)

事業名	事業内容等
宇佐海軍航空隊保存整備事業	宇佐市平和ミュージアム(仮称)は資料館と遺構群で構成します。市内に点在する遺構群は、損傷・劣化させることなく、保存環境に留意し、最適な状態で後世に受け渡していく責任があります。また、教育的効果や展示演出効果を踏まえた考証を検討する必要があります。さらには、安全な見学を確保するための整備も求められています。
平和ミュージアム(仮称)資料館建設事業	
史跡法鏡寺廃寺跡保存整備事業	古代寺院である法鏡寺廃寺跡の遺構の保存を万全なものにするとともに、周辺に存在する遺跡群とともに屋外博物館的な史跡公園の整備を目指す。併せて、周辺住民の憩いの場所の創設を目的とした宇佐市中心市街地における都市公園としての整備を行う。

(図書館)

事業名	事業内容等
宇佐学顕彰事業	本市が誇る偉人の業績を漫画にて紹介し幅広い年代に伝えることができる。郷土を愛する心のきっかけをつくることできる。本年度は「大井憲太郎」を紹介したい。